

KYODO PR Business Report

第55期(2018年12月期)中間事業報告書



【経営理念】

我々は情熱と創造性で
顧客の課題解決を図り
100年のコミュニケーションをつなぐ
PRエージェンシーである。

【ビジョン】

No.1 PR

【当社の特徴】

「統合的なPRサービス」

当社ではPR戦略の立案から
実行までをワンストップで行う
専任チーム、危機管理、海外PR、
デジタルコミュニケーションなどの
高い専門性を有する専門チームを有し、
これらのチームが連携し、
統合的なPRサービスを
提供しています。

「メディアリレーションズ」

PR会社の主な業務には、
新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・
Webなど様々なメディアに
クライアントの情報提供を行う
「メディアリレーションズ(当社商標)」が
あります。現場から幹部層までが
長年培ってきた重層的な強固な
メディアネットワーク力は、
当社最大の資産です。

「PR業界への貢献」

当社が直接企業や団体などに
PRサービスを提供するだけでなく、
PR業界の活性化につながる
情報の提供をPR総研を通じて
行っています。
また、「広報の学校」を通じて、
広報・PR人材の育成に
つながる活動を行っています。

Top Message | 株主の皆様へ |



代表取締役社長

谷 鉄也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第55期(2018年12月期)上半期連結業績の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、前期に引き続き、新規リテナー契約の獲得及び既存・新規顧客からのオプションル&スポット案件の獲得に注力いたしました。その結果、売上高、売上総利益に大きく寄与いたしました。また、貸倒引当金繰入額が発生しなかった結果、前年同期と比べ販売費及び一般管理費が17百万円減少し、営業利益は、過去最高を記録いたしました。

連結子会社である共和ピー・アール株式会社につきましては、イベント案件などを受注した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。映画のPRに特化した連結子会社である株式会社マンハッタンピープルにつきましては、計画よりも案件を受注し、前年同期に比べ売上高が増加いたしました。

引き続き利益率の高いリテナー契約の維持と新規顧客獲得を図ることにより、安定的な利益の創出に努めるとともに、WebメディアやSNSの有効な活用を提案するデジタルコミュニケーション領域の営業活動を強化、推進してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

単位:百万円 ()は前年同期比

当第2四半期の概要		通期の見通し		2018年12月配当予定	
売上高	2,553 (32.0%増)	売上高	4,500 (2.8%増)	1株当たり	1.67 円
営業利益	226 (184.6%増)	営業利益	300 (13.4%増)		
経常利益	224 (193.5%増)	経常利益	295 (14.3%増)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	184 (203.2%増)	親会社株主に帰属する 当期純利益	248 (12.4%増)		

台湾支店を開設

中華圏でのサービスの向上、拡大を推進するため、台湾支店を開設し、2018年7月20日より営業を開始いたしました。

日本政府観光局(JNTO)の発表によると、2017年の台湾からの訪日旅行者数は3番目に多い456万人で、年間消費額は2番目に多い5,744億円となっています。また、財務省の「貿易統計」によると、台湾は日本の農林水産物・食品の国・地域別輸出先として4番目(838億円)に多い国となっています。

このような状況の中で、昨年、当社は台湾最大規模のPRグループである「エリートPRグループ」と戦略的なパートナーシップを締結するなど中華圏でのPRサービスを拡充、開拓してまいりました。さらに、この度、台湾の通信社である財団法人中央通訊社内に当社独自の拠点となる台湾支店を開設し、営業を開始いたしました。

今後は、この台湾支店を拠点に、日系企業・各官庁・地方自治体に対してより現地の消費者ニーズを的確にとらえた効果的なプロモーション手法を提供するとともに、日本進出を試みる台湾企業の窓口として営業を拡大してまいります。

宮城県、冬の観光キャンペーン「西部警察」編が話題に

2017年夏に続き、宮城県冬の観光キャンペーンのPR業務を担当しました。今回は、東日本大震災からの復興を支援した石原プロが全面協力。往年の刑事ドラマ「西部警察」をモチーフに、大門刑事(渡哲也さん)をイメージした村井嘉浩宮城県知事率いる「湯渡軍団」が、県内の名湯を捜査するPR動画を制作しました。西部警察の世界を再現した記者発表会には、館ひろしさんが駆けつけてくれました。ファン感涙のPR動画は公開開始から瞬く間に再生回数300万回を突破し、幅広い年代から支持を集めたキャンペーンとなりました。



スウェーデン国王王妃両陛下の公式訪日をPR

スウェーデン・日本の国交150周年を記念したスウェーデン国王王妃両陛下の公式訪日のPRを当社が実施。節目となる年に両国の関係をより強固にするためにも多くのメディアを誘致することが求められました。事前の情報収集が難しい状況の中、両国のメディアや運営と調整に奔走し取材機会を最大限に創出。当初の参加見込みメディア10媒体をTV・9件（関東）、新聞/雑誌・174件（全国）、Web・565件にまで増やし、両国の関係強化に大きく寄与。クライアントから高評価をいただきました。



マンハッタンピープル2018年上半期事業トピックス

春休みのNo.1洋画アニメ「リメンバー・ミー」(3月公開)、そして夏休みの話題をさらった「ハン・ソロ/スター・ウォーズ・ストーリー」(6月公開)と、ウォルト・ディズニーの快進撃に大きく貢献することができました。

また、ジョン・ウー監督と福山雅治のセッションで、映画ファンを熱狂させた日中合作映画「マンハント」(2月公開/GAGA)や、綾瀬はるかのかのヒロイン役でスマッシュ・ヒットとなった「今夜、ロマンス劇場で」(2月公開/ワーナー・ブラザース)など、個性豊かな邦画の興行を成功に導くことができた上半期でした。

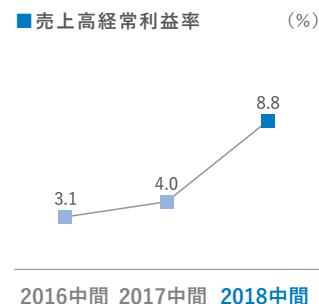
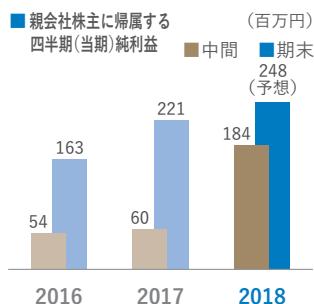


© 2017 Media Asia Film Production
Limited All Rights Reserved.



©2018映画「今夜、ロマンス劇場で」
製作委員会

Financial Highlight | 決算ハイライト(連結) |



■業務区分別売上高(単位:百万円) ■リテイナー ■オプション&スポット ■ペイドパブリシティ



リテイナー …… 企業などの広報活動を6ヶ月以上の契約をもって支援及びコンサルティングしていくものであります。PR戦略の策定からパブリシティ(記事化)業務、不祥事発生時の危機管理広報対応支援など幅広いサービスを行っております。

オプション …… リテイナー契約顧客に対する一時的な付加サービスを言います。
スポット …… 企業などの6ヶ月未満の広報活動支援を言います。ニュースリリースの作成・配信などのパブリシティ活動から、展示会や美術展等の開催告知目的のPR活動、記者発表会の企画・運営等まで各種のニーズに対応します。

ペイドパブリシティ …… 新聞や雑誌等の特定のページを購入して、顧客の意図する内容を記事形式で掲載していく手法を言います。

Company Profile | 会社情報 |

■取締役及び監査役 (2018年6月30日現在)

取締役会長	古賀 尚文
代表取締役社長	谷 鉄也
取締役副社長	沼田 英之
専務取締役	西井 雅人
取締役	木村 忠久
取締役	原野 圭司
社外取締役	尼崎 勝司
常勤監査役	中田 一久
社外監査役	行本 憲治
社外監査役	黒澤 基弘

※社外取締役である尼崎勝司氏並びに社外監査役である行本憲治氏及び黒澤基弘氏は、株式会社東京証券取引所の規定する独立役員であります。

■大株主 (2018年6月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
(株)新東通信	479,132株	36.10%
(株)テクノグローバル研究所	200,000株	15.07%
SMBC日興証券(株)	69,500株	5.24%
佐藤 友亮	55,800株	4.20%
共Pグループ従業員持株会	39,600株	2.98%
山本 文彦	27,500株	2.07%
高 長樹	27,000株	2.03%
上村 巍	22,400株	1.69%
日本証券金融株式会社	21,000株	1.58%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,200株	1.45%

注)持株比率は自己株式(30,426株)を控除して計算しております。
また、自己株式につきましては、上記の表から除外しております。

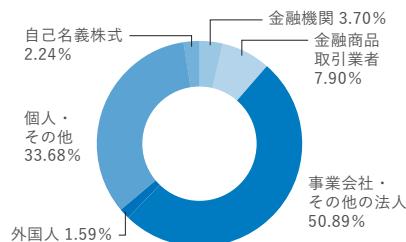
注)2018年7月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っておりますが、上記株式数については、当該株式分割前の所有株式数を記載しております。

■株式状況 (2018年6月30日現在)

発行可能株式総数	5,040,000株
発行済株式の総数	1,357,532株
株主数	687名

■所有者別株式分布状況

(2018年6月30日現在)



HPのご案内

トップページ <https://www.kyodo-pr.co.jp/>



当社の会社情報や様々なPRの実績をご覧になることができます。

IR案内 <https://www.kyodo-pr.co.jp/investor/>



各種開示資料や冊子ではお伝えしきれなかった財務の情報がまとめられています。

社 名 共同ピーアール株式会社(証券コード:2436)
KYODO PUBLIC RELATIONS CO., LTD.
所在地 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル
電話:03-3571-5171(代) FAX:03-3574-1005
創 業 1964年(昭和39年)11月
資本金 5億489万円
社員数 203名(単体)、238名(連結)
(2018年6月30日現在)

